

しょうがくせい みな
小学生の皆さんへ

がつ むか なつやす はい おも つづ しんがくねん みな
8月を迎え、いよいよ夏休みに入りました。思いもよらないことが続いた新学年でしたが、ここまで皆さんが
げんき がっこうせいかつ おく こころ かんしゃ
元気に学校生活を送ることができたことに、心から感謝しています。

つ ゆ あ いっき きび あつ たいよう な ごえほんかくてき なつ かん
梅雨明けとともに、一気に厳しい暑さです。ギラギラの太陽と、ミンミンゼミの鳴き声に、本格的な夏を感じさ
せられます。がつはじ じき まいとし こうこうせい いっしょ い わたし なん
せられます。8月初めのこの時期、ほとんど毎年、高校生と一緒にフィリピンに行っている私にとっては、何と
なく淋しい夏休みです。毎年出会っている子どもたちや高校生・大学生は無事ではいるようですが、フィリピン
でも人が集まるような活動は一切できないとのこと。清潔にすることが難しく、小さな家で多くの家族
が生活している貧しい地域の人々に感染が広がらないよう、祈るばかりです。

ところで、フィリピン体験学習中、何度も読まれる新約聖書の一節があります。それは、おなかを空かせてい
た多くの人々を、イエスが5つのパンと2匹の魚でおなか一杯にしたという話です。「パンの奇跡」といわ
れたりしますが、イエスがパンを増やしたとは一言も書いてありません。イエスはその場にあった5つのパン
と2匹の魚を祝福し、人々に分かち合っていた。すると、居合わせた5千人の男の人がおなか一杯にな
り、残ったパンと魚も12の籠に一杯になったというのです。「命のパン」そのものであるイエスを通して
ただく恵みの豊かさを表す出来事として、すべての福音書に記されています。

たとえ、自分は小さな存在であっても、持っているものはわずかでも、イエスの祝福とともに分かち合う時、た
くさんの人が満たされる。これはフィリピン体験学習における大切な学びです。ことばも生活も社会のしくみ
も全く違う中で生活している者が出会い、素直に心を開いて交流し、分かち合うという経験は、互いを有り
余るほど豊かに満たしてくれるということを私は毎年見てきました。

あたら せいかつようしき もと せいげん おお なつやす こころ ひら ひと かか じぶん ちから じかん ひと
新しい生活様式の下で制限の多い夏休みですが、心を開いて人と関わったり、自分の力や時間を人のた
めに差し出したりするような分かち合いの機会を、ぜひ、工夫してみてください。そのことを通して、皆さんが

いのち よろこ たいけん おお せいちょう こころ ねが
命の喜びを体験し大きく成長することができますよう、心から願っていま
す。

